

人々が婚礼に込めた、 想いをカタチにする。

『金澤 syugen』

新郎新婦や参列者が胸に秘める想い、晴れの日を迎えた喜びや多くの人への感謝の気持ち、これからの暮らしへの期待などを余すところなく表現するウェディングを実現。金沢に伝わる風習や伝統を活かしながら、細やかな心遣いでオリジナルの一日を演出。美装や会場装花、料理などをコーディネート、そのすべてにメッセージ性を与えることで、自然と想いが伝わる「もてなしの演出」が秀逸だ。テーマに沿って表現する二人の物語のために作られるオリジナルの小物も豊富。新郎新婦の婚礼衣装を描く「金澤祝言こぼし」や「金澤つまみ紗衣句」「金澤modern水引」で作るブーケやかんざしなどは好評だ。彩り豊かなオリジナルの和菓子も人気。

藩政時代の風情を伝えるひがし茶屋街の料理屋「十月亭」と提携。同店を新郎家に見立てて来客をもてなす「金澤町屋和婚」は、まるで二人の新居に招かれたような雰囲気と大好評。その演出は斬新なサプライズに溢れているが、上品で感動的だ。

また、宝生流能楽師とのコラボレーションも実現し、能を取り入れた和婚式も叶う。古式ゆかしい舞と謡によって、金沢らしい美意識を表現した素晴らしい時間と空間を演出できる。

金沢市泉野出町2-22-6 サンルクスビル2F
☎076-214-4555 営/10:00~19:00 休/木曜 P/あり
http://www.kanazawa-syugen.jp
http://www.kanazawa-syugen.jp/_wp/(ブログ)

Information
■ひがし茶屋街花嫁行列と町屋祝言
20名480,000円/ 銭屋プロデュース・十月亭懐石料理・フリードリンク・和婚プロデュース・花嫁行列プロデュース・和モダンコーディネート・アテンダー・全館貸切り料を含む。



金沢では、新郎新婦のお手引きする子供を「おまっちょろ」という。おめかしした甥っ子と姪っ子がつとめた。



大輔さん&佐智子さん「瑠璃祝言」
二人で訪れた厳島神社。平家物語の中で、その美しさが瑠璃に例えられたことからテーマに。瑠璃モチーフの船細工オリジナルケーキにて「瑠璃の儀」で開宴。また、水蝶は二人の出身地にちなみ、内灘の「ハマナス」と宇ノ気の「がほっくり」をデザインした。古来から七宝の一つにも数えられた瑠璃の色に彩られ、和やかな中にも気品のある祝言となった。



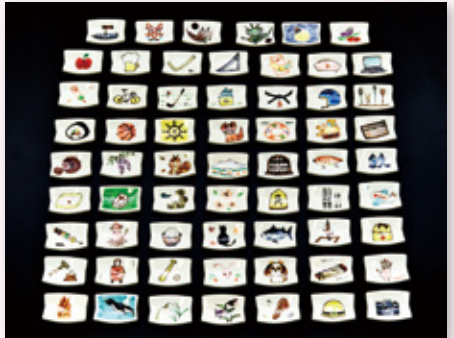
藤一さん&すみれさん「高砂百合祝言」
早朝の宇多須神社で挙式。夏の朝のまだ涼しい時間、ひがし茶屋街を花嫁行列で「十月亭」へ。沿道からも温かい祝福をうける。「高砂百合」は、二人の思い出の「厳島神社」がある宮島で咲く可憐な花。年々、多くの花を咲かせるこの百合のように幸多かれと願いを込めて、テーマに選ばれた。



船細工で、高砂百合を美しく表現する。



俊典さん&芳乃さん「朱鷺祝言」
新郎の出身地の隼馬は、江戸時代から続く大根の産地。それにちなみ大根の装花で演出してお出迎え。柔らかな朱鷺色のシャクナゲが描かれたオリジナル彩羊羹も、町屋の風情に華を添えた。



オリジナルの九谷焼箸置きは、出席者それぞれにゆかりのある柄が描かれた。



オリジナル彩羊羹に愛らしいピンポン菊を飾る「菊花の儀」。



龍神伝説の二つ池を新郎家の農作物で表現。「実りの秋」も織り込んだ。



上/新郎新婦の衣装を描いた「金澤祝言こぼし」。下/「金澤つまみ紗衣句」をあしらった丸鏡は高砂席の花嫁の心強いパートナー。



「金澤つまみ紗衣句」の末広ブーケは、リングピローにもなる。



良平さん&志津さん「龍神祝言〜菊花〜」
二人の思い出の地である伊勢神宮の龍神伝説をテーマに。「八松苑」向かいの藤が丘公園にて撮影。太鼓橋の鮮やかな赤と水鏡に映る新郎新婦の姿が美しい。二部制の披露宴。親族中心の一部は本格和会場で、友人中心の二部はセンテレオで行った。



色とりどりの「折鶴シャワー」で祝福される二人。伝統美のアレンジが得意な「金澤syugen」ならではの演出だ。



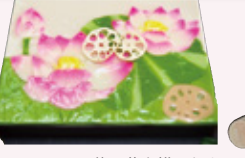
克弘さん&真奈美さん「加賀鶯祝言」
「金沢百万石まつり」で、加賀鶯演舞梯子のほりを披露している新郎にちなみテーマを設定。ハッピー姿の甥っ子の先導で「加賀木遣り唄」にて入場。「ハシゴを登るように幸せな人生を」との願いを込めて鏡開きを行った。新郎父が育てた有機栽培の蓮根と桜でテーブルコーディネートした。「明るい未来を見通す」蓮根は縁起が良い。



加賀水引でオリジナルデザインした桜モチーフのこも樽。参列者が「打木赤皮甘栗、へた紫なす、源助大根、五郎島金時」など二人手作りのフェルト加賀野菜を持ってのテーブルフォトは和気藹々の時間に。



新郎の夢だったという、石川門でのロケーションフォト。



蓮の花を描いたオリジナル彩羊羹に蓮根を飾る「シンコンレンコンの儀」は愛らしい儀式となった。



真一さん&志保さん「端午柏祝言」
市場が好き二人のために、山菜や野菜も使った装花は「端午の節句」の季節もさしこんだ。



オリジナルウェディング145組の実例が一冊の本に。
金沢の四季を織り込みながら、古ききたりを新鮮に再現。情緒あふれる婚礼や、愛らしい意匠が凝らされたオリジナルアイテムを美しい写真で紹介する。



康夫さん&文佳さん「青海波祝言」
白山比咩神社にて、友人も交え杉木立を花嫁行列。食事会では、伝統の「水合わせの儀」をアレンジしたセレモニーを。能登で出逢った音楽好きな二人であることから、おめでたい雅楽の演目でもあり、海の恵みを表す縁起の良い文様「青海波」をテーマに。紅白寿せんべいは、二人を表現する楽器をデザインした。



智揮さん&愛さん「燕栄華祝言」
花嫁の生家の玄関には縁起が良いとされる燕の巣があることから、両家のいやさを折って「燕栄華祝言」と題した。オリジナルの紅白寿せんべいには、新郎の出身地山中の「大杉」と、祝言のテーマ「燕」モチーフを描いた。プランナーも和心を大切に和装にて案内や進行をつとめる。

